

第 92 回神奈川県立座間谷戸山公園 現場研修会報告

—テーマ : 樹林環境の順応的管理 —

12 月の谷戸山公園研修は、樹林環境の順応的管理と公園の生態環境施設の環境特性を学ぶ研修をおこないました



一気に寒くなってきた 12 月。谷戸山公園の池には厚い氷が張っていて、別の池では水鳥たちがじっとしています。見た目からも冬の寒さを感じる季節がやってきました。



午前中は、皆伐更新地区での萌芽株と実生の調査をおこないます。谷戸山公園では初の試みとなる皆伐更新なので、いろいろ試験をさせてもらえる貴重な機会です。

なので「こういう事をやってみたい」などの提案があれば取り入れて研修を行う予定であるとお話しが講師からありました。



今回は、以前目印をつけた皆伐更新地区の構成主要木のコナラ、イヌシデに見落としはないか、
萌芽株と実生を再確認していきます。

葉が落ちて辺りが見やすくなったので、夏の頃の作業に比べて
コナラなどが見つけやすくなっていました。新たに見ついたらテープで目印をつけていきます。



今更新している萌芽株や実生は、今後どういう成長をしていくのか、樹齢によって成長するの
かないのか、他の樹種のものとの競争できるのかなどを調査しながら経過を見ていきます。

この調査の結果が、今後の谷戸山公園管理に活かされていきます。



皆伐更新地区で見られたミノムシ(左)とウソ(右)です。
寒空の中、ウソはアメリカセンダングサの種をせっせと食べていました。



雨が降ってきたので、午前の研修は早めに終了しお昼休憩です。
お昼の後は、先月の谷戸山まつりの報告や、最近の気になる環境のニュースなどを取り上げ話し合いました。



午後は谷戸山公園の生態環境施設の環境特性を学ぶ研修です。
谷戸山公園は山、谷戸、里、入口広場の4つのエリアに分かれています。
まずは山エリアのシラカシ観察林から周りました。
シラカシは常緑樹なので、冬でも葉が落ちません。空の光が遮られ林は全体的に暗いです。



シラカシやヒサカキがまだ成長途中の頃は、地面にはアズマネザサがびっしり生えていたそうです。今は大きく成長したシラカシなどによって光が遮られたため、アズマネザサは全く生えていませんでした。



面白いものを発見！

シラカシの間からスギが伸びていました。この写真からは分りにくいですが、下の幹の方はシラカシとスギがくっついてます。どうしたらこういう風に成長するのでしょうか。不思議です。



シラカシ観察林を抜けた所に生垣がありました。

よく見るといろいろな種類の植物でできています。これを「混ぜ垣」と言います。

この付近でみられる植物を紹介する意味も込めて、この生垣にしたそうです。

また、いろいろな種類の植物で構成することによって、特定の虫が大発生しにくいそうです。



この後、昆虫の森、スギ・ヒノキ観察林に行ったところで時間になってしまいました。

シラカシ林やスギ・ヒノキ林は常緑樹で構成されているので、

以前講師が谷戸山公園は暗い森が多いと言っていたのが納得できました。

まだ見にいけていないエリアもあるので、また機会を見つけて行きたいと思います。

今回の研修はこれで終了です。

座間谷戸山公園には、森林、草地、湿地環境とさまざまな環境があり、
ビオトープ管理士を目指す方や、実践で学びたい方たちにとって絶好の研修場所になると思います。

この環境を利用し、受けてみたい研修などがあれば是非提案して下さい！

意見をどんどん取り入れて実施していきたいと思います。

気になる方は是非一度、参加してみてください。